

# 健康寿命延伸プロジェクト表彰事業所



## 公益財団法人 滋賀県健康づくり財団

業種: 巡回健(検)診業務等 従業員数: 36名(2024年4月現在)  
 設立年: 1980年4月  
 所在地: 大津市御殿浜6番28号

### 活動・取組の目的

健康づくり、健(検)診事業を担う財団として、健康づくりや職場環境の改善に積極的に取り組み、職員の健康増進と生産性の向上の両立を実現し、働きがいのある職場づくりを推進します



**シンボルマーク**  
 Healthの頭文字「H」をシンメトリックにデザイン化したもので両手を挙げた人の形は、健康であることの喜びを表しています。

### 活動・取組の概要

- ・ 職員健診結果に基づく保健指導の実施
- ・ 産業医、衛生管理者、衛生委員会の設置  
 産業医による健康相談の実施、衛生委員会の開催・ストレスチェックの実施
- ・ 健康づくりに関する研修会の開催
- ・ イン트라ネットを利用した健康に関する情報提供
- ・ 治療と仕事の両立支援コーディネーターの設置

### 効果・成果

- ・ 保健指導対象者への声掛けの徹底により1年でメタボ該当者・予備群が40%減少した。
- ・ 食事や運動習慣の見直しが定着するなど職場全体の健康リテラシーが向上してきている

### 健康経営成功へのプロセス

#### ○取り組むことになったキッカケは？

滋賀産業保健総合支援センターの研修で両立支援について学び、必要性を感じて両立支援コーディネーターの研修を受講したこと。

#### ○取り組む中で苦労していることは？

健康づくり研修への参加者数は多いが、両立支援の相談窓口が職員に周知できていない。必要な人に支援が行えるように職場内のコミュニケーションをよくしたい。

#### ○取り組み始めたときの従業員の反応は？

健康づくり研修に積極的に参加している。紹介した腰痛予防体操を取り入れている職員もいる。

#### ○事業所として取り組むために必要なことは？

様々な部署や職種が話し合える機会を設け、衛生委員会や管理部門で検討し、職場環境の改善につなげている。



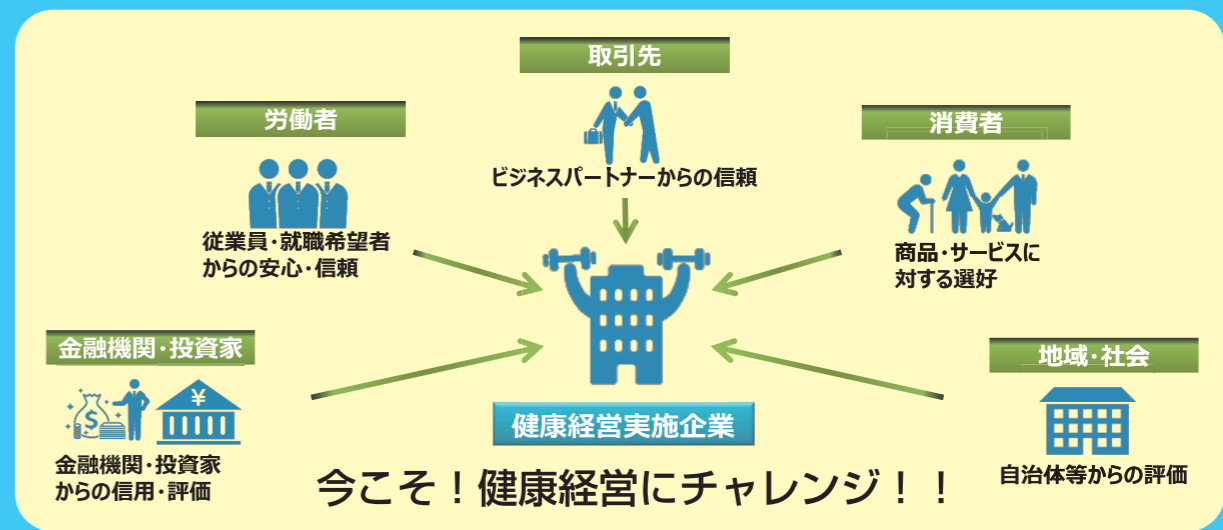
# 職場の健康づくり 取組事例集

Case Studies



## 健康寿命延伸プロジェクト表彰事業

地域や企業の優良な取組事例を発掘し、県民に情報発信することにより、健康づくりに対する県民の意識を高め、健康寿命の延伸を目指すことを目的に実施しています。



今こそ！健康経営にチャレンジ！！

滋賀県「健康いきいき21」地域・職域連携推進会議  
 滋賀県医師会・滋賀県歯科医師会・滋賀県薬剤師会・滋賀県栄養士会・滋賀県健康推進員団体連絡協議会・  
 滋賀県産業保健総合支援センター・滋賀県商工会議所連合会・滋賀県商工会連合会・滋賀県中小企業団体中央会・  
 健康保険組合連合会滋賀連合会・滋賀県国民健康保険団体連合会・全国健康保険協会滋賀支部・滋賀県後期高齢者医療広域連合・  
 滋賀医科大学・立命館大学・株式会社平和堂・滋賀労働局・滋賀県市町保健師協議会・滋賀県保健所長会・滋賀県  
 (順不同)

【今後の目標・展望】メタボ基準該当者・予備群の減少や、がん教育にも力をいれ、健康増進と生産性の向上の両立を実現し、働きがいのある職場づくりを継続して推進します！



# 健康寿命延伸プロジェクト表彰事業所



## 株式会社TKS TOP FIELD

業種: 製造業 従業員数: 11名 (2024年4月現在)  
 設立年: 1999年4月  
 所在地: 東近江市南菩提寺町558-7

### 活動・取組の目的

健康促進のため

### 活動・取組の概要

- ・2018年4月から非喫煙手当を支給 (支給額は基本給の2%)
- ・受動喫煙対策として敷地内全面禁煙

### 効果・成果

- ・非喫煙率 100%達成



### 禁煙達成者の声

- ✓ 禁煙の理由をいくつも考えたが達成できずにいた。誰かと一緒に、それでいて手当も付けていただいたので続けられている。
- ✓ やめようやめようと思っていましたが、なかなかやめられなかったのが、モチベーションの上がる手当はとてもよききっかけになりました。
- ✓ タバコを吸いながら、やめられたらいいなと思っていました。手当がもらえるとなると、自分以外の人も関わってくることになるので、その人たちの事を気かけながら、タバコをやめることができた気がします。

### 今後の目標・展望

- ・毎日、全体朝礼後にラジオ体操行う (設備調整中)
  - ・工場内ユーティリティールームを活用し、運動習慣の動機付け
  - ・また、トレーニング機材を導入し、体力増進にも力をいれる
  - ・非喫煙手当 (基本給の2%) を、NISA等の投資に回すよう助言
  - ・定年後も働き続けてもらえるような取組の推進
- 現在は自由出勤。定年後も自由出勤とし、現在 75 歳 1 名、74 歳 1 名が勤務



### 健康経営成功へのプロセス

#### ○取り組むことになったキッカケは？

喫煙者は、休憩時間前になるとそわそわして仕事に差し支えがあり、怪我の原因になり、健康上もよくないと考えていました。

#### ○取り組み始めたときの従業員の反応は？

給料明細を見て実感したようです。

○事業所として取り組むために必要なことは？  
 経営者の本気度だと思います。



## ダイハツディーゼル株式会社 守山事業所

業種: 製造業 従業員数: 690名 (2024年4月現在)  
 設立年: 1966年5月  
 所在地: 守山市阿村町45

### 活動・取組の目的

～からだところの健康づくりを実現します～  
 いきいきと健康に働き続けられる職場を作ることが、安全の確保と生産性の向上、企業価値の向上につながると考え、従業員の疾病予防、健康増進のための事業を運営し、従業員一人ひとりの行動変容を促します

### 活動・取組の概要

- ・両立支援コーディネーターの配置、両立支援プログラムに関する内容を規定
- ・復職プログラムの整備 (復職支援の規則改正)
- ・独自の休暇制度の導入 (健康休暇・診療外出制度等)
- ・健康づくりイベント等 (ポイント制のチャレンジ制度、昼食費用助成、食事管理アプリの提供、スマートミール (健康メニュー) の提供等)

### 効果・成果

- ・健康診断受診率100%
- ・健診後の保健指導実施率100%
- ・保健師へ早期の段階での相談件数の増加 (月平均62件) (体調不良以外に健康増進に関する相談多数)

### 健康経営成功へのプロセス

#### ○取り組むことになったキッカケは？

働きながら治療を行うことは日常的なことであり、治療と仕事の両立支援は個人の働きがいと健康の維持に必要な支援と考えています。

#### ○取り組む中で苦労したことは？

制度設計の段階で管理職や労働組合との調整に力を注ぎました。制度運用後、治療と仕事を両立しつつ「安全」と「やりがい」の両立も守る必要があるため、関係機関と連携を取り最善策を模索しています。

#### ○取り組み始めたときの従業員の反応は？

従業員に寄り添う会社であると安心感が得られ、また社内の相談先の周知にも繋がり、早めに保健師に相談する雰囲気が出ています。

#### ○事業所として取り組むために必要なことは？

「すべての事業活動において従業員の安全と健康を最優先課題として取り組む」ことを決意し、トップメッセージとして発信しています。

**POWER! FOR ALL beyond 2030** 3  
 実現に向けて

働く誰もがより安心し、思い切って働ける職場環境づくり

Employee 安全安心で働きがいのある職場

1. 「人権尊重と安全と健康」がすべての基盤
2. 多様性・公平性・包括性の促進
3. 自ら考え挑戦する人材の育成
4. 全員参加の企業風土改革 2023会社方針テーマ抜粋

健康宣言

私たちは、社員一人ひとりが健康であることが、企業の発展につながると信じています。健康管理の徹底、健康支援の提供など、あらゆる面から社員みなさんの健康をサポートします。

2023年6月30日  
 健康づくり推進者 浅田 英樹  
 総括安全衛生管理者



2022年度達成率	
①睡眠 熟睡できている	達成率50.0%
②朝食 毎日食べる	達成率67.0%
③間食 夕食後帰宅までの間食は週2日以下	達成率78.0%
④適正体重 BMI25未満	達成率63.8%
⑤運動 1日30分以上の運動を週1日以上	達成率46.0%
⑥飲酒 飲まないか1日1合まで	達成率52.0%
⑦タバコ 吸わないか禁煙中	達成率73.5%
⑧ストレス 多い方ではない	達成率68.2%

会社として出来ることは限られますが、楽しく仕事が続けられるような取組をしていきたいです。

【今後の目標・展望】引き続き、従業員がいきいきと働き続けることができる企業を目指します。